

東京民医連 高校生・予備校生向け医療講座 『医師と高校生がつくるCase Conference』 開催しました。



講師：菅原 慧 医師
(東葛病院研修医2年目)

2025年11月16日(日)東京民医連(豊島区・大塚)で高校生・予備校生向け医療講座『医師と高校生がつくるCase Conference』を行いました。東葛病院研修医2年目菅原慧先生が、研修期間で対応した症例をもとに、アルコール依存症の患者さん、終末期患者さんの生活背景や価値観に目を向け、治すだけでもない”寄り添う医療”について講演をしてくれました。医学生も4名参加し、ディスカッションや交流会で医学部のことも紹介してくれました。

【菅原慧先生よりメッセージ】

患者さんの病気そのものだけではなく、その人の生活や価値観にも目を向けることが大切です。医療では正解は一つではなく、患者さんやご家族と一緒に「よりよい答え」を探す姿勢が求められます。また、医師は治すだけでなく、寄り添う仕事もあります。

いつか皆さんができる形で人に寄り添う医師になってくれることを願っています。

高校生22名。医学生4名が参加しました。



交流会では医学生と高校生が受験のアドバイスや疑問、医学部生活について話をして盛り上がりました。

東京民医連



【参加した高校生から寄せられた感想】

本人の意志強い人や、意識障害がある人など普段あまり関わりのない人や考えない人などどのように関わるべきなのか考えることができた。一番大切な患者さんの意志を考えることを忘れずに意識していきたいと感じた。

普段医学生と関わることがないので、自分にはない考えを得て話すことができてよかったです。たくさんの視点から患者さん、ご家族との関わり方を考えさせてくれた。勉強のことや普段の生活、学生時代のこと、自分が知りたいことを聞くことができとても有意義な時間でした。(高校2年生)

自分にはなかった視点でも考えることができ良かった。胃瘻(口から食べられない人のために、お腹に穴を開けて胃までチューブカテーテルを通し、直接栄養や水分を補給する方法)について既に家族と話し合ったことがある子がいてすごいなと思った。少しでも家族や大切な人の時間を長くするか、食べることが好きということに重点を置くか、どこに着目すべきかがポイントだと感じた。

医学生の方と話すことで、より医学部に行きたいという気持ちが強まった。また、同年代の医学部を目指す学生とも話すことができとても良い経験になった。

(高校1年生)

東葛病院医学生室
LINE公式 アカウント



学習会や医師体験、
模擬面接のお知らせをしています。

医学部とは他の進路に変更した今後、お知らせや郵送物がいらない方はこちら(Google form)からご連絡ください。



資料送付が不要になった方、ご住所が変わった方へ